



～これからの100年も「お客様から真っ先に選ばれる」企業であるために～

フューチャー ラボ

挑戦と創造を加速させる『FUTR LABO』始動

デジタル技術と多様な発想の掛け合わせで、新たな事業や価値を創出し、未来を切り拓きます。

阪急阪神不動産株式会社は、社会や人々のニーズが急速に変化している中で、未来のお客様に価値を提供し続けるためには、デジタルトランスフォーメーション（DX）が不可欠であると考え、「DX ビジョン」を掲げてデジタル技術を活用した事業変革に取り組んでいるところです。

この「DX ビジョン」では、進化するデジタル技術を活用し、事業やビジネスモデルを変革し続けることで、これからの100年間で「お客様から真っ先に選ばれるサービスや体験」を提供し続けるデベロッパーとなることを目指しています。このたび、その実現に向けた取組をより力強く推進させていくための組織としてプロジェクトチーム『FUTR LABO』を本日設立しましたので、お知らせします。当社は、本ラボを通じて企業の可能性を拡張し、未来社会に貢献するイノベーションを創出してまいりたいと考えています。

『FUTR LABO』の概要は次のとおりです。

■『FUTR LABO』の概要について

1. 名称（読み） FUTR LABO（フューチャー ラボ）
2. 設 立 日 2025年4月22日（火）
3. 目的と理念 これからの100年も「お客様から真っ先に選ばれる」企業であるために

◆「100年先の未来の不動産」の創出

学術研究にとどまらず、実践的な事業創出を目指します。業界の先駆けとなり、進化するデジタル技術を用いて、新たなビジネスモデルの創出や不動産事業の更なる価値の向上を加速させます。

◆未来の開拓者の育成と結集

従業員一人ひとりのアイデアや情熱を実現するための場であり、イントレプレンナーによる新たな価値創出を支援するための組織です。既存の枠を超えた社会課題解決に向けたアプローチを後押しします。

◆ナレッジの集約とパートナーとの共創

ナレッジの集約とアイデアの共有を通じて、協業パートナーとの出会いや新たな取組が創発されやすい環境を整え、全社の創造性を高めます。

4. 主な取組テーマ 本年度は主に次の3つの取組テーマで活動予定です。

（1）ウェルビーイング×オフィスワーカーアプリの実装検討

グラングリーン大阪で導入した商業施設の従業員向けアプリの機能拡張を目指し、行動データ分析等のテクノロジーを駆使したワーカーのウェルビーイング向上支援ソリューションの実証実験に取り組みます。

（2）ビッグデータ×不動産で未来を創る 商業施設とオフィスのバリューアップへの挑戦

商業施設やオフィスビル等の長年にわたる運営で培った膨大なデータを活用し、新たな価値創造に挑戦します。経験と勘に頼るアプローチを進化させ、データに

よる客観的な視点で施設の魅力を最大化させる、次世代型の施設経営を目指します。

(3) インバウンド × 長期滞在 滞在価値を革新する次世代住環境プロジェクト

訪日外国人の多様なニーズに応える理想の長期滞在環境を創造します。観光・ビジネス・留学など、目的別に最適化された住まいにおけるサービスを設計し、快適さと利便性を融合した住環境で滞在体験を向上させ、新たなホスピタリティモデルでインバウンド市場の可能性を広げます。

5. ロゴマーク



FUTR LABO（フューチャー ラボ）のロゴマーク

ー 未来を“創り”かえろー というメッセージを込めるために、「未来(FUTURE)」の表記をあえて「FUTR」と綴り、まさに「未来を変える」を表現しています。ラボは「FUTRWORKS(フューチャー・ワークス)*」を中心に活動し、会員スタートアップ企業やデジタルノマドワーカーの皆さんとの共創を見据えています。

※阪急電鉄株式会社と当社が2024年1月に阪急グランドビルに開設したスタートアップとデジタルノマドワーカーに特化した会員制コワーキングオフィスです。
「FUTRWORKS」のWEBサイト: <https://futrworks.com>

◆デザインモチーフ



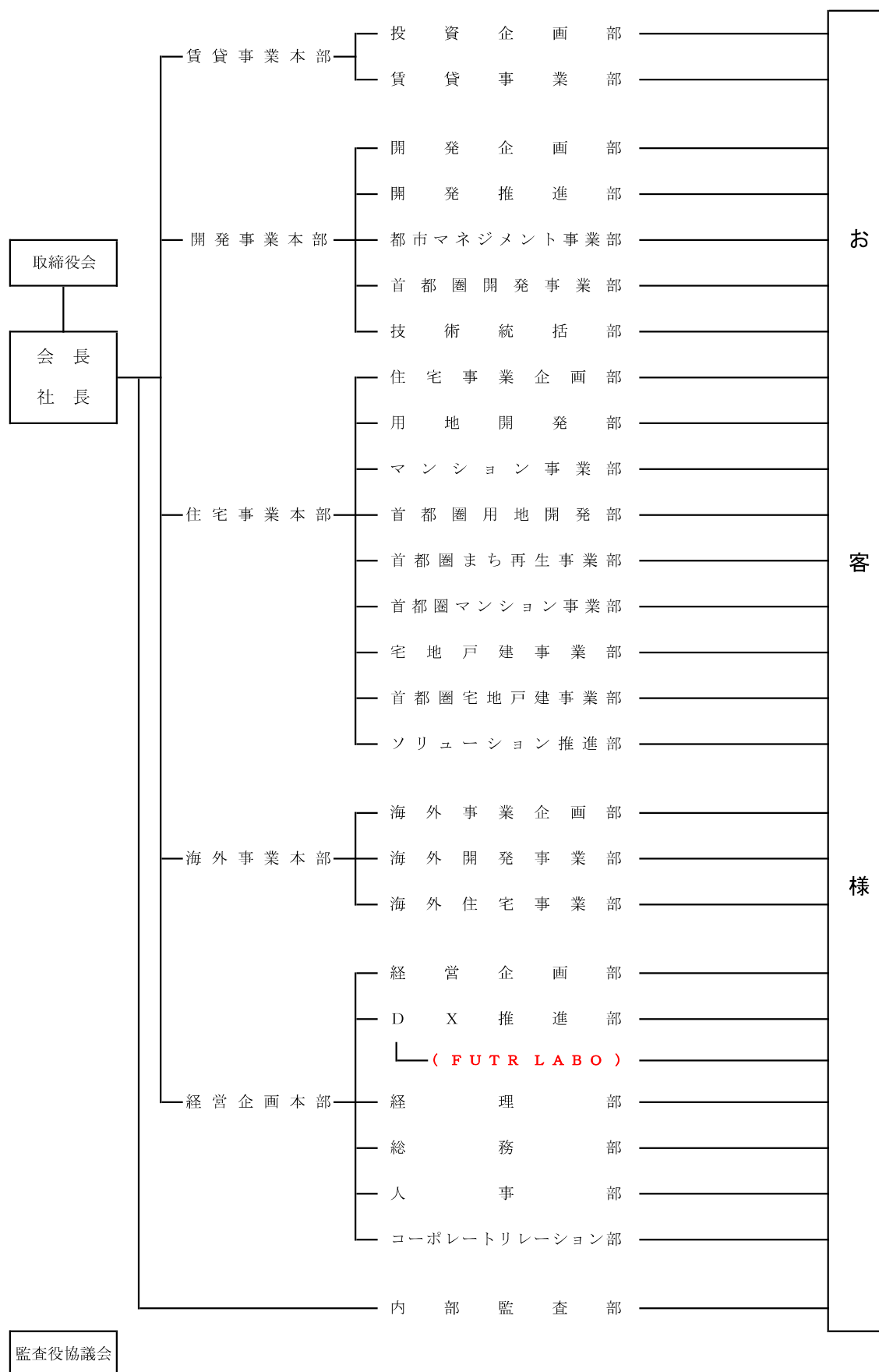
FUTR LABO での共創によって関わるたくさんの人や思い、まちや事業が繋がり、ひとつとなって広がっていくイメージを可視化。また回転させることで未来へと進む推進力と持続力を表現しています。

6. ホームページ <https://futrlabo.hhp.co.jp>

以 上

【添 付 資 料】 別 紙 阪急阪神不動産株式会社 組織図（2025年4月22日現在）

阪急阪神不動産株式会社 組織図（2025年4月22日現在）



(注) 「FUTR LABO」を4月22日付で新設